

2020年度学校評価結果と2021年度重点目標

2021年4月

恵泉幼稚園

1. 本園の教育理念・教育目標・教育方針

【教育理念】

恵泉幼稚園は、高橋誠一が、「神は愛である」というキリスト教の教えに立ち、1935年（昭和10年）に設立した幼稚園です。幼いときに、自分が愛され、守られていることを感じる事ができ、幼児の豊かな心、健康な体、考える力を育みます。生きる力の基礎を培い、子どもとともに、育ち合う園であり続けます。

【教育目標】

意欲のある子ども・・・一人ひとりの個性を生かし、興味・関心に合った環境を作る
思いやりのある子ども・・・ありのままの自分が受け入れられていることを知り、遊びを中心とした生活の中で思いやる心を育ていく
感性豊かな子ども・・・自然豊かな広い園庭で、季節に触れ、美しさや尊さを感じる
感謝できる子ども・・・祈りを通して、神様に愛され、守られ、たくさんの恵みを与えられていることに感謝する心を育てる

2. 2020年度の振り返りと2021年度重点的に取り組む目標・計画

【2020年度、重点的に取り組む目標】

- ・「自分でできるようになった」ことを喜び、一人ひとりの自信に繋げ、自立心を育てる。
—おうちの方と協力して—
- ・年少組：お友だちと一緒に遊び、生活する楽しさを感じていく。

【2021年度、重点的に取り組む目標】

- ・成長に応じた「自立心」の育ちを積み重ねる。
- ・幼稚園生活の中で正しい姿勢を心掛ける
— 身体を思いっきり動かす遊びと静かに集中する時間のバランスを大切に —
- ・年少組：お友だちと一緒に遊び、生活する楽しさを感じていく。

【2020年度、重点的に取り組む目標】を振り返りました（点検、評価）

本来ならば、新年度の4月・5月は幼稚園生活のリズムや生活習慣を掴み、幼稚園の生活に見通しが付き始める時期になります。しかしながら、今年度は新型コロナ感染症拡大のため2カ月遅いスタート、休園中にご家庭で「早寝・早起き・朝ごはんの生活のリズム」や「手洗い・うがいの基本的な生活習慣」を整えていただきました。幼稚園の生活習慣を、特に新入園児は

楽しい感覚で身に付けられるように配慮し、「心の安心」「情緒の安定」に配慮が必要です。ご家庭で身に付いた習慣のおかげで、幼稚園のやり方にもすぐ順応し、自分がしたい楽しい遊びの時間が満たされるという、よい成果が生まれました。子どもたちは安心できる環境にいると外にも目が向き、色々なことに挑戦したくなります。

今年度の目標である「自信や自立心」、特に「自立」は自分の身の回りのことができるようになることで、もちろん、年齢によって求められることは違いますが、「子どもは、自分でできることは自分です」という特性を持っています。おうちは安心して甘えられる場所ですからやってもらっても多くあると思いますが、家庭という安心できる場所から飛び出し、幼稚園では「少し背伸び」をして頑張ることができるのです。そして再び頑張った心を休めるためにおうちに戻る、この循環がうまく機能することが大切です。

幼稚園では「自立」について、強制的な指導にならないように配慮をしています。友だちがいる集団生活の持つパワーが刺激となり、やる気を湧き上がらせ、子どもたちの可能性を引き出す幼稚園ならではの良さを重要視しています。

幼稚園とご家庭で共有することは、成長を急がせず、ゆっくりとおおらかに、「自信や自立心」が育つように、お子さんが楽しみ喜んでいることを「面白いね」「楽しいね」「嬉しいね」と感情を言葉にしてあげることが心の育ちには必要です。子どもが失敗することを恐れず、気持ちを立て直す応援団になり、小さな成功体験を積み重ねていきましょう。

【2021年度、重点的に取り組む目標】の設定について

：成長に応じた「自立心」の育ちを積み重ねる。

子どもたちは、成長発達に必要なステップを遊びと生活の両輪で踏んでいきます。2021年度は成長の連続性に着目し、2020年度取り組んできた生活習慣の「自立」が、「自立心」の育ちに繋がっていくことに注目しました。

未来を切り開く子どもたちに必要な「心の土台になる力」の基礎は、幼児期の成長段階を踏まえた環境の中で様々な個性と出会い育っていきます。幼児の特性である自分中心性から抜け出し、協力や相手への思いやりにはうまくいかないこと、気持ちのぶつかり合いも必要な経験です。また、しなければならないことの自覚、自分の力で行うために考えたり、工夫し諦めずやり遂げた達成感と自信を持った行動等の「自立心」の育ちが大切です。

2021年度重点的に取り組む「自立心」は一人ひとりの「心の土台」になる力です。幼稚園生活の全体を通して、様々な経験の中で育っていくことを心に留め進めていきます。

：幼稚園生活の中で正しい姿勢を心掛ける

— 静かに集中して過ごす時間と身体を思いっきり動かす遊びのバランスの中で —

園生活の中で子どもたちの姿勢が気になります。すぐに机等にもたれて、背筋を伸ばしてよい姿勢を保つことができにくい状態は、身体の発育にも関係することはもちろんのこと、集中力や意欲にも影響を及ぼします。幼稚園はご家庭に比べ椅子に座る機会が多く、子どもたちの身体は、椅子に深く腰掛け背筋を伸ばすことに慣れていないように感じます。静かな時間と身

体を動かす遊びの経験を通して、心身の成長のバランスという観点からも、正しい姿勢が習慣付くことを目標にしました。決して、強引な指導ではなく、静かに集中して椅子に腰かける環境があるからこそ、よい姿勢が保てる場として大切にしていきます。

：年少組「お友だちと一緒に遊び、生活する楽しさを感じていく」

成長発達の連続性を捉えることで、一人ひとりの成長を大切にした教育方針の一貫性に繋げ、初めての幼稚園生活の経験が成長を促す基盤を作ります。初めてのスタートの時期には「お友だちと一緒に遊び、生活する楽しさを感じていく」ことが欠かせません。年少組ならではの重点目標はその後の成長段階への土台になります。

3. 学校評価結果の取組み

評 価 項 目	取 組 み 状 況
<p>「おうちの方の学校評価」を実施。評価項目別に採点を集計し、自由記述の意見をまとめました。</p>	<p>意見を参考に、幼稚園の環境や教育活動を振り返り、改善点を見出しました。</p>
<p>教員の自己評価（自己課題の設定と課題への自己評価）を実施。</p>	<p>「教員自己評価」をもとに、子どもとの関わり、おうちの方との連携、幼稚園が取り組む課題を考えました。良い点は伸ばし、不十分な点は改め、新年度、向上していけるように努めます。</p>